

# 平成23年度県内病院における看護職員実態調査

島根県健康福祉部医療政策課

## 1 調査の目的

就業看護職員数は増加傾向にあるにもかかわらず、本県でも各医療機関等において看護職員の確保が困難な状況が生じ、適切な医療の提供に支障が生じている。

また、第7次島根県看護職員需給見通し（H22.12）によると、需要数が供給数を上回る不足の状況が今後中期的にも継続する見通しであり、従来の看護職員確保対策に検討を加え、その対策を強化することが必要である。

このため、特に就業看護職員数が多い、県内病院の看護職員の確保等の実態を把握する。

## 2 調査の概要

- (1) 調査時期 平成23年10月1日
- (2) 調査対象 県内の病院（同日現在54病院）全数を対象
- (3) 回答率 100%
- (4) その他 この調査で「看護職員」とは、保健師、助産師、看護師、准看護師をいう。

## 3 調査の結果【主なもの】

### 《 調査結果の概要 》

- 看護職員数（正規雇用5,813人）は、前年同期から228人（4.1%）増加している。
- 年間採用計画に対する採用実績は77.4%（昨年度より約9.0ポイント上昇）
- 新卒者が前年度比で28人（10.8%）減少  
採用内訳＝新卒者45.3%、施設間異動44.1%、未就業から10.6%
  - ◇県内の養成施設からの採用数に、僅かであるが増加傾向が見られる。
  - ◇新卒者の採用減少分28人は、すべて県外養成施設からのもの
  - ◇400床以上の病院が、399床以下の比べ採用計画に対する採用実績が高い。
- 退職者総数が32人減少。中途退職者数に対し約7割程度しか代替職員を確保できていない。
  - ◇特に100床未満の規模の病院において代替職員の確保が困難
- 離職率
  - ◇県全体の離職率は、6.3%（昨年度より0.8ポイント低下）
  - ◇新卒者の1年以内の離職率は、4.8%（昨年度より1.2ポイント低下）
  - ◇新卒者の離職率は200床未満の病院で高い
- 看護職員の必要数
  - ◇県全体での看護職員の充足率は、95.8%
  - ◇県全体で、さらに約265人から約325人の看護職員が必要であると各病院は考えている。

## (1) 看護職員数

◆看護職員数は、引き続き増加している。

非正規雇用職員を含めた看護職員全体数は、平成22年4月と平成23年4月を比較すると239人（3.8%）増加している。うち正規雇用職員は、228人（4.1%）増加している。

圏域別に見ると、雲南、大田、隠岐圏域では、全体数も正規雇用職員数も減少している。

### ■看護職員全体

	平成22年4月1日	平成23年4月1日	増減
松江	2,314	2,360	46
雲南	354	336	▲ 18
出雲	1,719	1,905	186
大田	321	319	▲ 2
浜田	746	767	21
益田	614	621	7
隠岐	127	126	▲ 1
県計	6,195	6,434	239

※「平成22年数値」は、昨年調査の結果

### ■正規雇用職員

	平成22年4月1日	平成23年4月1日	増減
松江	2,076	2,111	35
雲南	280	274	▲ 6
出雲	1,570	1,733	163
大田	297	294	▲ 3
浜田	691	712	21
益田	561	582	21
隠岐	110	107	▲ 3
県計	5,585	5,813	228

※「平成22年数値」は、昨年調査の結果

### ■看護職員全体【規模別集計】

	平成22年4月1日	平成23年4月1日	増減
400床～	2,189	2,387	198
200床～399床	2,432	2,447	15
100床～199床	1,170	1,193	23
20床～99床	404	407	3
県計	6,195	6,434	239

※「平成22年数値」は、昨年調査の結果

### ■正規雇用職員【規模別集計】

	平成22年4月1日	平成23年4月1日	増減
400床～	2,005	2,203	198
200床～399床	2,153	2,179	26
100床～199床	1,061	1,064	3
20床～99床	366	367	1
県計	5,585	5,813	228

※「平成22年数値」は、昨年調査の結果

## (2) 看護職員【正規雇用職員】の採用の状況

※看護職員の採用の状況について、特に採用計画が無く「採用計画数」が不明の病院もあり、採用者数そのまま採用計画数であったとみなして集計した。

### 【圏域別集計】

◆年間採用計画に対する採用実績は、約77%（昨年度より約9ポイント上昇）

平成22年度1年間の採用の状況は、県全体で見ると、採用計画656人に対して508人の採用で、採用計画に対する割合は77.4%である。松江、出雲、益田、隠岐圏域が県平均を上回っている。

採用計画に対する採用者を昨年度と比較すると、採用計画数は128人（16.3%）減少、採用者数は28人（5.2%）減少している。

### ■平成22年4月1日～平成23年3月31日

	計画	応募	採用	採用／計画
松江	206	203	156	75.7%
雲南	26	13	13	50.0%
出雲	215	261	192	89.3%
大田	29	15	15	51.7%
浜田	96	67	63	65.6%
益田	72	63	58	80.6%
隠岐	12	11	11	91.7%
県計	656	633	508	77.4%
H21	784	709	536	68.4%
H20	708	717	552	78.0%
H19	657	751	590	89.7%

※「採用計画数」を定めていない病院の当該数値は、「採用者」の数値として集計した。

◆新卒者が前年度比で28人（10.8%）減少しているが採用者全体の中で大きなウエイト

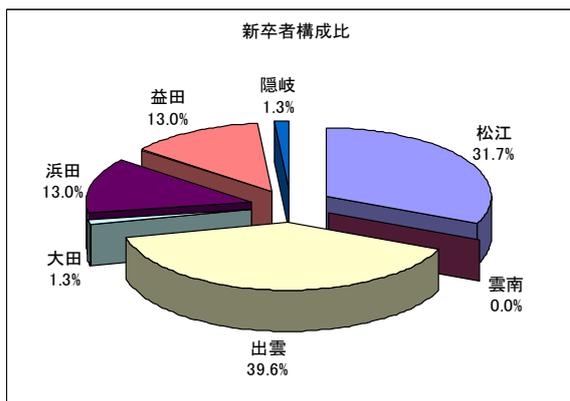
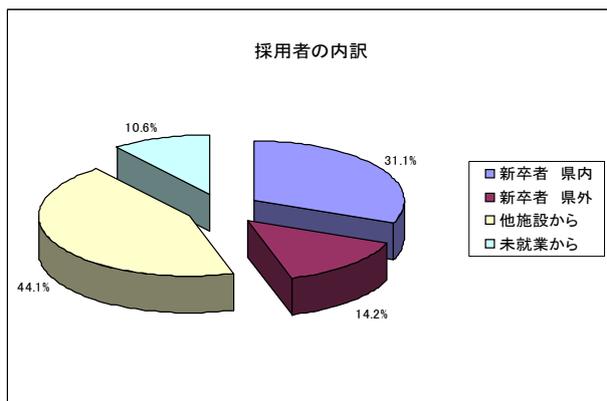
採用者508人の内訳を見ると、新卒者が県内学校養成所出身者が158人、県外学校養成所出身者が72人で合計230人である。採用者全体の45.3%が新卒者であり、他施設からの異動による採用が44.1%、未就業者からの採用が10.6%となっている。採用者に占める新卒者の割合が県平均を上回っている圏域は、松江、出雲、浜田、益田圏域である。

平成22年度は前年度に比べ、新卒者が28人（10.1ポイント）減少（すべてが県外養成所出身者）し、他施設からの異動、未就業からの採用は横ばいである。

■平成22年4月1日～平成23年3月31日

	採用	採用者の内訳						新卒／採用	他施設／採用	未就業／採用	新卒者構成比
		新卒者		計	他施設から	未就業から					
		県内	県外								
松江	156	48	25	73	74	9	46.8%	47.4%	5.8%	31.7%	
雲南	13	0	0	0	9	4	0.0%	69.2%	30.8%	0.0%	
出雲	192	59	32	91	84	17	47.4%	43.8%	8.9%	39.6%	
大田	15	3	0	3	12	0	20.0%	80.0%	0.0%	1.3%	
浜田	63	25	5	30	13	20	47.6%	20.6%	31.7%	13.0%	
益田	58	20	10	30	25	3	51.7%	43.1%	5.2%	13.0%	
隠岐	11	3	0	3	7	1	27.3%	63.6%	9.1%	1.3%	
県計	508	158	72	230	224	54	45.3%	44.1%	10.6%	100.0%	
H21	536	154	104	258	225	54	48.1%	42.0%	10.1%		
H20	552	154	67	221	282	49	40.0%	51.1%	8.9%		
H19	590	149	73	222	259	105	37.7%	43.9%	17.8%		

※「採用計画数」を定めていない病院の当該数値は、「採用者」の数値として集計した。



【病床規模別集計】

◆特に400床以上の病院において、採用計画に対する採用実績が高い。

平成22年度1年間の採用の状況は、100床以上の病院は採用計画に対して7割～9割の採用ができていますが、100床未満の小規模な病院は採用計画に対して64.6%で他の規模の病院と比べ採用実績が低くなっている。

採用計画に対する採用者の割合を昨年度と比較すると、400床以上の病院で19.7ポイント、100床未満の病院で29.7ポイント上昇しているが、100床から399床の病院ではほぼ横ばい。

■平成22年4月1日～平成23年3月31日 【病床規模別集計】

	計画	応募	採用	採用／計画
400床～	213	308	199	93.4%
200床～399床	267	195	185	69.3%
100床～199床	128	96	93	72.7%
20床～99床	48	34	31	64.6%
県計	656	633	508	77.4%

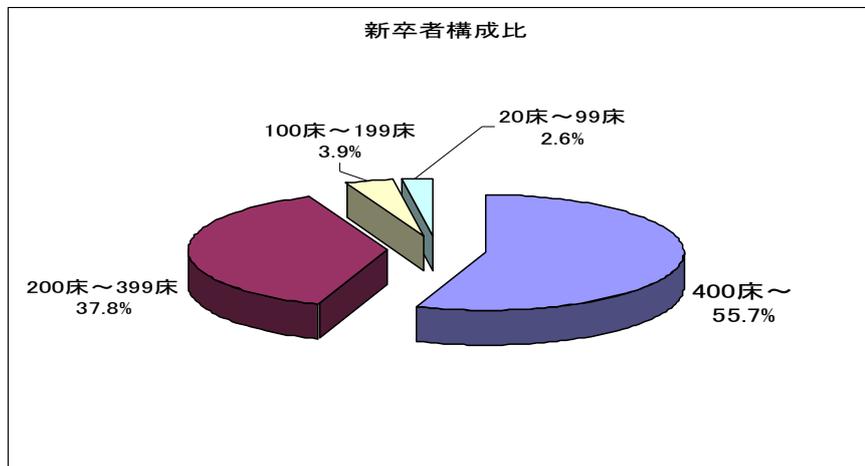
◆新卒者の採用が全病床規模分類で前年度より減少

採用者の内訳をみると、200床以上の病院では採用者に占める新卒者の割合が200床未満の病院の割合を大きく上回っている一方、他施設からの採用は200未満の病院が200床以上病院を大きく上回っている。

新卒者の採用人数を前年度と比較すると、400床以上で10人、200床から399床の病院で7人、100床から199床の病院で7人、20床から99床の病院で4人減少している

■平成22年4月1日～平成23年3月31日

	計画	応募	採用	採用者の内訳					新卒／採用	他施設／採用	未就業／採用	新卒者構成比
				新卒者		計	他施設から	未就業から				
				県内	県外							
400床～	213	308	199	83	45	128	57	14	64.3%	28.6%	7.0%	55.7%
200床～399床	267	195	185	61	26	87	76	22	47.0%	41.1%	11.9%	37.8%
100床～199床	128	96	93	8	1	9	76	8	9.7%	81.7%	8.6%	3.9%
20床～99床	48	34	31	6	0	6	15	10	19.4%	48.4%	32.3%	2.6%
県計	656	633	508	158	72	230	224	54	45.3%	44.1%	10.6%	100.0%



(3) 看護職員の退職の状況

※急な中途退職に対して代替職員が確保できているかという観点からの数値といわゆる離職率について集計した。

【圏域別集計】

◆退職者総数は、32人減少

◆中途退職者数の約7割程度しか代替職員を確保できていない。

平成22年度1年間の退職者は353人であり、前年度より32人（8.3%）減少した。このうち中途退職者は215人であり、年間の退職者の60.9%を占める。

この中途退職者に対して翌年3月までに代替職員が確保できた割合は、67.0%と中途退職者数の約7割程度しか代替職員を確保できていない。

■平成22年4月1日～平成23年3月31日

	退職者	うち中途退職者	代替職員確保	代替確保率
松江	135	82	67	81.7%
雲南	10	5	2	40.0%
出雲	100	60	45	75.0%
大田	21	12	3	25.0%
浜田	38	28	17	60.7%
益田	41	26	9	34.6%
隠岐	8	2	1	50.0%
県計	353	215	144	67.0%

H21	385	190	111	58.4%
H20	451	271	170	62.7%
H19	444	260	63	24.2%

※「中途退職者」とは、定期の退職日以外に退職した者をいう。

※「代替職員確保」の数値は、中途退職者にかかる代替職員を翌年3月までに確保できた数をいう。

【病床規模別集計】

◇ 特に、100床未満の規模の病院において代替職員の確保が困難な状況

■平成22年4月1日～平成23年3月31日【規模別集計】

	退職者	うち中途退職者	代替職員確保	代替確保率
400床～	118	47	28	59.6%
200床～399床	141	82	46	56.1%
100床～199床	73	68	67	98.5%
20床～99床	21	18	3	16.7%
県計	353	215	144	67.0%

離職率

【圏域別集計】

◇ 平成22年度の看護職員全体の離職率は6.3%であり前年度と比べ0.8ポイント、新卒者の1年以内の離職率は4.8%であり前年度と比べ1.2ポイント低下した。

看護職員県全体の離職率を圏域別に見ると、雲南圏域が低く、浜田、出雲、圏域が県平均を下回っている。

〔参考〕全国数値 全産業離職率（全体）14.5%（平成22年数値：雇用動向調査：厚生労働省）  
看護職員（常勤） 11.2%（平成21年度数値：病院看護実態調査：日本看護協会）  
新卒看護職員（常勤） 8.6%（平成21年度数値：病院看護実態調査：日本看護協会）

□看護職員全体の離職率

	離職率
松江	6.6%
雲南	3.6%
出雲	6.0%
大田	7.2%
浜田	5.5%
益田	7.0%
隠岐	7.8%
県計	6.3%

H21	7.1%
H20	8.5%
H19	8.6%

□新卒者の離職率

	離職率
松江	9.6%
雲南	—
出雲	2.2%
大田	33.3%
浜田	3.3%
益田	0.0%
隠岐	0.0%
県計	4.8%

H21	6.0%
H20	5.0%
H19	8.9%

【病床規模別集計】

◇ 看護職員全体の離職率は、400床以上の病院のほうが400床未満の病院に比較して若干低い傾向にある。新卒者の離職率については、199床以下の病院が高くなっている。

看護職員全体の離職率を昨年度と比較すると、いずれの規模の病院においても0.5ポイントから1.9ポイント低下している。

【規模別集計】

□看護職員全体の離職率

	離職率
400床～	5.7%
200床～399床	6.6%
100床～199床	7.0%
20床～99床	5.7%
県計	6.3%

□新卒者の離職率

	離職率
400床～	3.1%
200床～399床	2.3%
100床～199床	33.3%
20床～99床	33.3%
県計	4.8%

#### (4) 看護職員の休職等の状況

※急な休職等に対して代替職員が確保できているかという観点から数値を集計した。

##### 【圏域別集計】

◆休職者等に対して約4割程度しか代替職員を確保できていない。

平成22年度1年間に休職などを開始した看護職員数は387人であり、前年度より29人（6.9%）低下した。

この休職者等に対して翌年3月末までに代わりの看護職員が確保できた割合は36.4%と、休職などを開始した看護職員の数の約4割程度しか代替職員を確保できていない。

##### ■平成22年4月1日～平成23年3月31日

	休職者等	代替職員確保	代替確保率	実休職者等数
松江	147	53	36.1%	104
雲南	17	5	29.4%	20
出雲	130	75	57.7%	123
大田	24	1	4.2%	14
浜田	23	5	21.7%	25
益田	38	1	2.6%	37
隠岐	8	1	12.5%	4
県計	387	141	36.4%	327

H21	416	159	38.2%	308
H20	403	180	44.7%	310
H19	370	77	20.8%	

※「休職者等」とは、出産や育児に係る休暇、その他休職、長期研修などにより勤務していない者をいう。

※「代替職員確保」の数値は、休職者等にかかる代替職員を翌年3月までに確保できた数をいう。

※「実休職者等数」の数値は、平成23年10月1日現在休職等をしている者の数をいう。

##### 【病床規模別集計】

- ◇ 200床から399床の病院では休職者が8人増加し、代替確保職員が16人減少したため、代替職員確保率が14.5ポイント低下。
- ◇ 規模が小さい病院が代替職員確保率が低い傾向が見られる。

##### ■平成22年4月1日～平成23年3月31日

	休職者等	代替職員確保	代替確保率	実休職者等数
400床～	151	69	45.7%	154
200床～399床	132	32	24.2%	102
100床～199床	82	33	40.2%	60
20床～99床	22	7	31.8%	11
県計	387	141	36.4%	327

## (5) 看護職員の必要数

### 【調査の方法】

病院の部門（入院、外来、管理）ごとに、現行の看護配置基準等の体制を基本（体制の変更を含む）とした上で、平成24年4月1日見込で病院が必要とする人数と現員数を比較した。

※例えば、看護職員数の不足によりやむを得ず体制を休止・縮小しているような場合には本来の体制を実施するための必要な人数、看護配置基準を上位の基準に移行する計画（勤務環境の改善等を含む）がある場合には当該体制を実施するための必要な人数を調査した。あわせて、その理由も調査した。

- ◇ 県全体での看護職員の充足率は、95.8%である。松江、出雲を除く各圏域が県平均を下回っている。
- ◇ 県全体で、平成24年4月1日に向けて、さらに265人から325人の看護職員が必要であると各病院は考えている。
- ◇ 必要数を前年度と比較すると、差引必要数が56.7人（27.2%）、最大必要数が35.2人（12.1%）増加した。  
〔主な増員の理由〕
  - ・看護配置基準を上位の基準に移行（10対1から7対1へなど）
  - ・やむを得ず休止・縮小した体制を本体の体制に復帰
  - ・夜勤回数への減、有給休暇取得などの勤務環境の整備
  - ・急な休職、退職に備え余裕人員を配置
- ◇ 病床規模が小さくなるほど看護職員の充足率が低くなる傾向。

### 【圏域別集計】

	必要数 a	現員数 b	差引必要数 a-b	充足率b/a	最大必要数
松江	2,275.3	2,216.0	59.3	97.4%	60.7
雲南	362.0	334.1	27.9	92.3%	29.9
出雲	1,690.9	1,670.1	20.8	98.8%	72.3
大田	323.1	301.1	22.0	93.2%	23.4
浜田	858.3	770.7	87.6	89.8%	91.6
益田	626.3	585.3	41.0	93.5%	41.0
隠岐	125.3	118.9	6.4	94.9%	6.4
県計	6,261.2	5,996.2	265.0	95.8%	325.3
H22	6129.4	5921.1	208.3	96.6%	290.1
H21			299.0		354.3
H20			342.4		383.3

☆各病院における平成24年4月の体制を考慮した調査時点での差引必要数

※「最大必要数」は、部署ごとの差引必要数のみを合計したもの。

### 【病床規模別集計】

	必要数 a	現員数 b	差引必要数 a-b	充足率b/a	最大必要数
400床～	2,114.8	2,113.2	1.6	99.9%	52.1
200床～399床	2,516.4	2,350.0	166.4	93.4%	173.6
100床～199床	1,206.9	1,143.4	63.5	94.7%	66.1
20床～99床	423.1	389.6	33.5	92.1%	33.5
県計	6,261.2	5,996.2	265.0	95.8%	325.3